

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

会 長 細谷 誠
幹 事 松村 昌子
会報委員長 内海 慶介

お知らせ

- ・ 12月のプログラム
4 (No.1)-年次総会
11 (No.2)-クラブフォーラム・卓話
18 (No.3)-忘年家族会

- ・ ニコニコBOX;なし

<ニコニコ会計累積/¥120,500>

- ・ がんばるBOX;
早退します
天野君
大名庭園、中津万象園ライト
アップ案内
眞鍋君
RCゴルフ大会に参加しました
大熊君
先週はご迷惑をおかけしまし
た。村尾様、内野様お話
ありがとうございました
細谷君
宅間の浦島マラソン10K
完走しました
富田君

<がんばる会計累積/¥87,000>

例
会
場
・
事
務
局

丸
亀
市
塩
飽
町
48
|
1
丸
亀
プ
ラ
ザ
ビ
ル

■会長挨拶

先週は私事で大変ご迷惑をおかけしました。

夜中から腹部の激痛が続き、朝方妻が中讃地区の救急病院に電話してくれたのですが、どこも他の方の処置中ということで受け入れてもらえず、やむなく救急車を呼びました。救急車はすぐ来て頂いたのですが、それから50分ちかく家の前で駐車したまま救急隊員の方がずっと受け入れ先を探してくださり、結局受け入れて頂いたのは仏生山にある高松市立みんなの病院でした。都会ではこういう状況はニュースなどで聞きますが、香川県のような地方における救急医療の実態を今回は文字通り痛いほど味わせて頂きました。

先月日本の少子高齢化についてお話をしたとおり、日本人は昨年一年間で約香川県に相当する95万人ほど減少し、更にこれから20年ほどは今のペースで人口は減るそうです。とすれば、5年で四国の人口が、10年なら仙台市を含む東北6県や大阪府が消滅する規模の人口減少なのです。これほどの急激な人口異動は当然社会、経済、政治などに様々な影響が及ぶことは必然で例えば、緊急医療体制でも病院、医療施設の統廃合に伴う搬送時間の延長と稼働可能な救急車両の不足や医療従事者、救急隊員の確保・負荷問題など、多くの問題が顕在化すると思われます。もちろん広域連携や遠隔診療などを駆使して対応していくことになるのですが、いずれにしても今のようサービスを続けることはかなり困難になると思われます。ダチョウってホントかウソかは知りませんが、危険が差し迫ると穴の中に首を突っ込んで現実を見ないようにするそうで、「ダチョウの平和」とは目の前の危機を直視せず、やり過ごしながら時のたつのを待つという意味らしいです。しかし人口問題はやり過ごして好転する問題ではありません。「ダチョウの平和」に陥らず現実を直視し、社会全体、各会社で速やかに対策を講じ、実施する必要があると今回の救急搬送で痛感しました。

■例会事業：丸亀市まなび支援課長 村尾様

皆さんこんにちは。本日はお時間いただきありがとうございます。新しくできる丸亀市民会館、愛称「THEATRE MAdo」について、これまでの経緯や今後のこととお話します。私たちが大切にしているのは「豊かな人間性を育む」「誰一人孤立させない」「切れ目ない支え合い」という3つの理念です。これはSDGsの言葉を借りたのではなく、実際に市民の方3000人ほどと直接お話をする中で、現場から生まれた考えです。新しい市民会館は大ホール1301席、小ホールは形を変えて246席・343席。スタジオやミーティングルーム、児童館、和室など、多様な人が使える空間が整っています。中でも特徴的なのは「窓」と呼ばれる、部屋でも通路でもない自由なスペース。活動が見えたり、くつろいだり、誰でも使える場所にしています。さらに、発達障害のお子さんや乳幼児連れの方の声を受けて、国内初となる「カムダウナルーム」や、最上階の大ホールに「2席だけ」「4席だけ」のセパレート空間も作りました。「連れて行きたいけど迷惑になるかも...」という不安をなくすための工夫です。事業面では、芸術鑑賞だけでなく、子どもの非認知能力を育てるワークショップや、市民参加の演劇、障がいのある方も楽しめるプログラムなど、多様な人がつながれる取り組みを続けています。私たちは「みんな」ではなく「一人ひとりを見て施策をつくる」ことを大切にし、文化を通じて人と人をつないでいきたいと考えています。開館は2026年9月6日。皆さんと一緒に、丸亀の新しい文化拠点を育てていければと思っています。



